

2025



INSTRUCTOR DEVELOPMENT COURSE

~ *Program Outline* ~



CAIRNS

Great Barrier Reef Australia



INDEX

コース・ロケーション	3
必要経費と予約	4
参加前条件	5
必要教材	6
必要器材	7
参加前の自習と準備	8
コース・スケジュール	9-10
コース担当者の紹介	11
年間スケジュール、インストラクター試験 (IE)	12

コース・ロケーション



トレーニング・センター

ケアンズ市街にあるダイビング専用トレーニング施設を利用致します。ケアンズ中心街からも、徒歩でアクセスできるので非常に便利！ショッピングセンターや宿泊施設、レストラン、ネットカフェなども近くにあるので安心です。大型講習用プールとクラスルームで、より快適な講習をお約束致します。



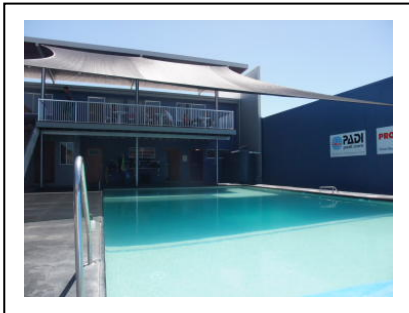
ショップ

ケアンズの中心、センター・モールのすぐ近くにリテイル・ショップがあります。ダイビング器材や海情報を気軽に立ち寄り、入手する事ができます。経験豊富なインストラクターが器材選びやツアー情報を提供してくれます。器材メンテナンス&サービスも行っているのです、まさかの時にも安心です。



クラス・ルーム

冷房完備のクラスルームは、講習生に快適なレクチャー環境をお約束致します。7つのクラスルームから候補生数に合わせたお部屋を選択します。ルーム内には大型 LCD、ランチエリアにはティー&コーヒーカウンターもご用意しています。



講習用プール

クラスルームに隣接した、二つの大型温水プールを利用します。年間を通して、快適な水温を保持しているのです講習中のストレスは一切ありません。講習専用で作られたプールなので、スキル練習や評価を行う際にも十分な水深と距離が確保されています。



海洋実習

インストラクター試験開催地に近い環境で海洋実習が行えます。試験会場であるフィツロイ島は海洋実習で利用するグリーンアイランドに海洋状況が類似するため、実際の試験会場に合わせたスキル練習が出来ます。事前に島からのダイビング環境に慣れられるのもこのコースの魅力のひとつです。

必要経費と予約

必要経費

コース料金

- PADI インストラクター開発コース<IDC> \$2295.00
- エマージェンシー・ファースト・レスポンス<EFRI>
& ケア・フォー・チャイルド<CFC> インストラクターコース \$ 495.00
上記コース料金はコース開始日にプロダイブケアンズにて支払いが必要となります。(C/C, FTPOS, Cash)
- 事前学習教材
IDC デジタルクルーパックと IDC スレートパック with Backpack
EFR Instructor スタートアップデジタルクルーパック \$1200.00
これらの教材料金はコース受付時にプロダイブケアンズにて支払いが必要となります。(C/C, FTPOS, Cash)

登録申請料と試験料金

- IDC 登録申請料 \$ 385.00
 - IE 受講料 \$ 1190.00
 - EFRI/CFC Instructor 申請料 \$ 266.20
- 上記料金は 2025 年 12 月 31 日までの料金です。インストラクター受験希望者は IE 前に PADI オンラインサイトから情報を記入し、クレジットカードにて引き落としとなります。

その他の必要経費

- IE 通訳料 (候補生の人数により変動致します。) \$ 120 ~ 250.00
インストラクター試験当日に支払う料金です。(Cash Only)
- IE 海洋試験交通費 (ボート、タンク、ウェイト代) \$ 80 ~ 120.00
IE 開催地により変動致します。上記料金は IE 前日にカード決済されます。

必要器材と教材

- 必要器材 (別紙参照 : P. 6)
 - 必要教材 (別紙参照 : P. 6)
- 現在、お持ちの器材&教材をご確認頂き、コース・スタート日までに個々でご用意下さい。

注意 : 上記全てのコース料金は 2025 年 12 月 31 日までの料金です。

ご予約

予約方法

Kenji(日本語)までお問い合わせ下さい。

	日本から	オーストラリアから
電話 (Office) :	+ 61 740 000 530	0740 000 530
(携帯) :	+ 61 466 433 039	0466 433 039
E-Mail :	info@scubaexpertaustralia.com	

返金ポリシー

コース予約時に AU \$ 495 の予約金 (デポジット) を徴収致します。また、コースキャンセルによる予約金の返金は、コース開始日の 1 週間前までとさせていただきますので予めご了承下さい。

参加前条件

PADI Divemaster または：

・ 一般に広く認められている他のレクリエーション・ダイバー教育機関に所属する優良インストラクター(資格更新済み、または更新資格を有する)。

・ 一般に広く認められている他のレクリエーション・ダイバー教育機関でリーダーシップ・レベルの認定を有する(資格更新済み、または更新資格を有する)

ログに記録されたダイブ経験 60 本；ナイト・ダイビング、ディープ・ダイビング、アンダーウォーター・ナビゲーションの経験を証明する書類。

18 歳以上

ダイビングに適した健康体であると医師が署名し、健康状態に変化はないことが記された過去 12 か月以内のダイバーメディカル・フォーム。AS-2299 (QLD 州で働く予定の方)

認定ダイバーになってから 6 ヶ月以上経過。

過去 24 カ月以内に、Emergency First Response Primary and Secondary Care コース(またはそれに相当するトレーニング)を修了。

注：Open Water Scuba Instructor 認定には、Emergency First Response Instructor 資格(または相当する資格)が必要。

PADI Divemaster でない場合は、PADI Divemaster コースのダイバー・レスキュー・スキル評価を修了する。

必要に応じて、PADI 以外の参加受入資格を満たすエントリー・レベル、アドヴァンスト、レスキュー、リーダーシップ・レベルに相当する資格*を証明する書類。

資格についての質問や詳細はお問い合わせ下さい。

必要教材

～ インストラクター開発コース必要教材チェックリスト ～

お持ちの教材をご確認下さい。足りない教材は IDC スタート時までにご用意下さい。ご購入が必要であれば事前にお問い合わせ下さい。

- PADI オープン・ウォーター・ダイバー・マニュアルまたは eLearning
- PADI アドバンスド・オープンウォーター・マニュアルまたは eLearning
- PADI レスキュー・ダイバー・マニュアルまたは eLearning
- PADI ダイブマスター・マニュアルまたは eLearning
- ダイビング・ナレッジ・ワークブックまたは、ダイビング理論オンラインの eレコード
- エンサイクロペディア・オブ・リクリエーション・ダイビング
- レクリエーション・ダイブプランナー：RDP テーブル、および eRDPml、使用説明書を含む

下記の教材はデジタルクルーパックに含まれています。教材を受け取り後、ご自身で内容をご確認下さい。

- PADI Instructor Manual
- PADI's Guide to Teaching
- PADI IDC eLearning
- PADI Peak Performance Buoyancy, Coral Reef Conservation, PADI AWARE Specialty Course Instructor Guide
- Open Water Diver Quizzes and Exam
- Rescue Diver Final Exams
- Divemaster Final Exams
- Open Water Diver、Advanced Open Water Diver、Rescue Diver、Divemaster、Discover Scuba Diving 用の水中用キューカード
- PADI スキル開発準備スレート
- PADI EFRI eLearning

下記の教材は推奨教材です。ご購入が必要ならば事前にお問い合わせ下さい。

- 全 PADI ダイバー・ビデオ
- PADI Specialty Diver マニュアルまたは eLearning
- Open Water Diver Course プリスク립ティブ・レッスンガイド
- Rescue Diver Course プリスク립ティブ・レッスンガイド
- Divemaster Course レッスンガイド
- Course Director Manual
- Discover Scuba Diving 参加者ガイド
- PADI Pro ログブック
- PADI ReActivate eLearning
- PADI Freediver eLearning
- PADI TecRec コース教材

必要器材

～ インストラクター開発コース必要器材チェックリスト ～

お持ちの器材をご確認下さい。足りない器材は IDC スタート時までにご用意下さい。ご購入が必要であれば事前にお問い合わせ下さい。

一部の器材に関してはレンタルが可能です。質問があれば事前にお問い合わせ下さい。

- マスク
- スノーケル
- フィン
- 保護スーツ
- BCD
- レギュレーター
- バックアップ空気源
- 深度計
- 残圧計
- ダイビングナイフ
- 時計
- コンパス
- ダイブコンピューターもしくはRDP
- 緊急用シグナル器材（音の出る器材と視認できる器材）
- 水中スレート
- ポケットマスク

参加前の自習と準備

- インストラクター・マニュアル・アップデート
最新のマニュアルをダウンロードし、トレーニング・ブルティンまたはウェビナーで最新基準をアップデートしておく。
- ダウンロードしたインストラクター・マニュアルの使用法に精通
マニュアルの単語による検索方法や構成順序を理解し、一般基準を迅速に調べられるように精通しておく。
- 一般知識の復習
ダイビング・ナレッジ・ワークブック、エンサイクロペディア、DM eLearning 等を利用し、一般知識について復習しておく。
- ダイビングスキルの復習
水中で十分なデモンストレーションが出来るように 24 スキルを全て復習しておく。
- レスキュースキルの復習
PADI レスキューコース課題 7 に関してマニュアルを再読し、それらの手順を復習しておく。
- 必要教材
必要教材リスト (P. 6) を確認し、不足しているものがあれば揃えておく。
必要であればオーダーできます。お早めにご相談ください。
- 必要器材
必要器材リスト (P. 7) を確認し、不足しているものがあれば揃えておく。
必要であればオーダーできます。お早めにご相談ください。
- 各種 C-CARD の写し
PADI 以外の団体に資格を取得した場合、それらのカード (OW、ADV、RES、DM 等) の両面をコピーしておく。
- ファーストエイドと CPR 資格証明の写し
EFR 以外の団体に資格を取得した場合、有効な資格証明 (IE から過去 24 ヶ月以内) または修了証書をコピーしておく。
- 健康診断証明の写し
現在有効な (IE から過去 12 ヶ月以内) ダイブメディカル証書をコピーしておく。
- 100 本以上を証明するログブックの写し
まだ 100 本に満たない方は IDC を修了した後でコピーしてください。
- パスポートサイズの証明写真
クロスオーバーの場合のみ (正面を向いた本人と理解できる 1 年以内の写真。帽子、サングラス等の着用は不可)

コース・スケジュール

C/R: クラス・ルーム

C/W: 限定水域

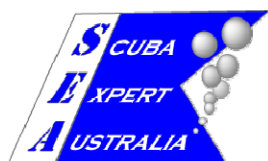
O/W: オープン・ウォーター

太字: 評価

Day1	C/R	ペーパー・ワーク
	C/R	オリエンテーション
	C/W	スキル開発ワークショップ
	C/W	10分間立ち泳ぎ/400m水泳
	C/W	ダイブセオリーワークショップ
Day2	C/R	PADI システムワークショップ
	C/R	学習と講習ワークショップ
	C/R	知識開発プレゼンテーションワークショップ
	C/W	ダイブセオリーワークショップ
Day3	C/R	知識開発プレゼンテーション 1
	C/R	限定水域トレーニングワークショップ
	C/R	限定水域講習プレゼンテーション 1 (陸上)
	C/R	ディスカバースクーバダイビングワークショップ (ブリーフィング)
	C/W	ディスカバースクーバダイビングワークショップ (限定水域)
Day4	C/W	限定水域プレゼンテーション 1&2
	C/R	オープンウォーターダイバーコースのセッティングとスケジューリングワークショップ
	C/R	知識開発プレゼンテーション 2
	C/R	リスクマネジメントとライセンシングワークショップ
Day5	C/W	限定水域プレゼンテーション 3&4
	C/R	オープンウォータートレーニングワークショップ
	C/R	オープンウォーター講習プレゼンテーション 1 (陸上)
	C/R	セールステクニックワークショップ
Day6	O/W	オープンウォーター講習プレゼンテーション (水中 1)
	O/W	レスキューダイバーコースワークショップ (Part1)
	O/W	レスキューダイバーコースワークショップ (Part2)
	O/W	ディスカバースクーバダイビングワークショップ (OW)
	O/W	レスキュー評価練習

Day7	C/R	知識開発講習プレゼンテーション 3
	C/R	限定水域講習プレゼンテーション 2 (陸上)
	C/R	継続教育ワークショップ
	C/R	オープンウォーター講習プレゼンテーション 2 (陸上)
Day8	O/W	オープンウォーター講習プレゼンテーション (水中 2)
	O/W	アドバンスド OW コースワークショップ
	O/W	レスキュー評価練習
	O/W	レスキューダイバーコースワークショップ (Part2/シナリオ)
Day9	C/R	知識開発講習プレゼンテーション 4
	C/R	ダイブセオリー (ダイビング理論) ワークショップ
	C/R	コースの終了
	C/R	IE Enrollment & Transfer 手続き
Day10	C/R	エマージェンシー・ファースト・レスポンス・インストラクター・コース
Day11	C/R	エマージェンシー・ファースト・レスポンス・インストラクター・コース
	C/R	ダイブセオリー (ダイビング理論) ワークショップ
	C/R	インストラクター試験オリエンテーション

コース担当者の紹介



氏名	: 稲井 謙二 (Kenji Inai)
出身地	: 香川県高松市
生年月日	: 1970年2月26日
URL	: http://scubaexpertaustralia.com
E-Mail	: info@scubaexpertaustralia.com
Address	: 4A Lucy close, Kanimbla Cairns QLD 4870 Australia
Phone	: 0466 433 039
ABN	: 71 462 889 094

コースに関するご質問等ございましたら、お気軽にご相談下さい。

ダイビング経歴

- 1994年 ケアンズ、グレートバリアリーフにて初めてダイビングを経験する。旅行ついでに C-Card を取得するが、これをきっかけにダイビングにはまってしまう。帰国後、日本のダイブショップを利用し、香川―瀬戸内、和歌山―白浜、高知―室戸、柏島などでダイビング経験を積む。
- 1995年 ワーキング・ホリデーにてケアンズ再来。アドバンス、レスキュー、ダイブマスターと連続して資格を取得後、ケアンズのオーバーナイト・トリップ・ボートで働きながらグレートバリアリーフを堪能する。そして、改めて GBR の美しさに魅了されてしまう。人に「GBR の美しさをダイビングを通じて教えたい」と思うようになり、インストラクター資格に挑戦。無事インストラクターになり、ケアンズのダイブショップでダイブコースを担当し始める。
- 1996年 いくつかのダイブショップで経験を積み、帰国して日本でお世話になったダイブ・ショップで働く予定だったが・・・突然、日本のショップが店じまい。ちよっぴり路頭に迷う・・・その後、帰国計画変更。現在も働いているグレートアドベンチャーズでフルタイムスタッフとして働くことになる。
- 2000年 ダイビングの教え方をより深く探究する為に IDC スタッフ資格を取得する。
- 2002年 IDC のアシスタントとして働き、インストラクター養成コースに興味を沸きだす。そしてコースディレクターになることを決断。マスターインストラクターになる。
- 2004年 マレーシア、コタキナバルにてコースディレクター資格を取得。
- 2006年 プロダイブケアンズと提携し、インストラクター開発コースをスタートさせる。

年間スケジュール

2026年	インストラクター開発コース (IDC)	EFR インストラクターコース (EFRI)	インストラクター試験 (IE)
1期	1月23日 - 2月4日	2月5日 - 2月6日	2月7日 - 2月8日
2期	3月13日 - 3月25日	3月26日 - 3月27日	3月28日 - 3月29日
3期	5月1日 - 5月13日	5月14日 - 5月15日	5月16日 - 5月17日
4期	6月5日 - 6月17日	6月18日 - 6月19日	6月20日 - 6月21日
5期	7月24日 - 8月5日	8月6日 - 8月7日	8月8日 - 8月9日
6期	9月4日 - 9月16日	9月17日 - 9月18日	9月19日 - 9月20日
7期	10月16日 - 10月28日	10月29日 - 10月30日	10月31日 - 11月1日
8期	11月27日 - 12月9日	12月10日 - 12月11日	12月12日-12月13日

インストラクター試験 (IE)

IDC が終了すれば、PADI 主催のインストラクター試験 (IE) に参加する事が出来ます。この試験は候補生が学んできたスキルや知識を PADI エグザミネーター (試験官) が評価します。通常、IDC 終了後の週末から 2 日間の日程で行われます。年間スケジュールは、上記の年間スケジュールを参照して下さい。下記スケジュールはケアンズ IE のサンプル・スケジュールです。場合により変更もございますので、予め、担当コースディレクターに確認して下さい。

日程	評価項目
1 日目 (土曜日)	<ul style="list-style-type: none"> ● IE オリエンテーション ● 潜水理論 : 5 科目 × 12 問 (90 分間) ● 一般基準と手続き : 50 問 (90 分間) ● 知識開発プレゼンテーション ● 限定水域講習プレゼンテーション ● 限定水域スキル・サーキット : 5 スキル
2 日目 (日曜日)	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンウォーター講習プレゼンテーション (2つのスキルを組み合わせたプレゼンテーション) ● オープンウォーター・レスキュー・デモンストレーション